



Web Fairy Paradise

第60号

改訂 2013/6/22

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第53回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第67回 推理将棋出題
- ・ WFP5周年記念コンクール
- ・ JIGSAW BOX#08
- ・ 解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展

結果発表

- ・ 第52回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第66回 推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest#35

読み物

- ・ 集積回路Ⅱに早詰(神無七郎)
- ・ 神無太郎源泉館(解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展ウォミングアップコース)



2013/6



WFP5周年

おかげさまで WFP も 5 周年を迎えることが出来ました。これもひとえに読者の皆様、各担当者様のご協力の賜物と感謝致しております。

1 号を発行したのが 2008 年 7 月号です。写真はその表紙ですが、あっさりしたデザインですね。1 号では 2008 年 4 月に発表され妖精賞長編賞を受賞した中村雅哉作プルーフゲーム 56 手に関する会話形式での読み物が何といても圧巻でした。最初にこの原稿を読んだときの興奮は今も忘れておりません。

それから 5 年経ち今回 60 号を迎えたわけですが、まだまだフェアリー普及という観点ではまだ道半ばです。WFP は難しいと言う声をよく聞きます。たしかにフェアリーは多種多様なルールが存在し、短手数ばかりから何種類のルールが絡み合った多種複合ルールまで宇宙のような広さがあるように感じます。しかしちょっと頑張って取り組んでみると意外と解けて面白さが分かるなんてこともよくあるのです。

ある人から 10 年続けたら門脇賞に推薦しますと言われましたのでとりあえずそこが目標です。(昨年度も投票頂いた方がいらっしやいましたが光栄です)

これからの 5 年でどれだけのフェアリーファンを増やすことが出来るかをしっかり考えながらやって行きたいと思います。皆さんよろしくお願ひします。解答もぜひ！

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも 4 コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト 10、自己紹介、何でも OK です。

感想

第 60 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々の HP アドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

*表紙のイラストを使用させて頂いております。

第53回WFP作品展(再掲)

担当：神無七郎

今月の新規出題はお休みです。
第53回作品展の出題稿を再度掲載します。

〔第53回作品展各題への補足説明〕

第53回出題のAコース12題は、筆者が本作品展を担当して初めての短編協力詰特集。作者は小林看空氏と上谷直希氏のお二人です。

看空氏の作品は10題。元々は詰将棋解答選手権の松本会場で行われた「ばか詰解答選手権」用に用意されていた作品で、このときに使用されなかった問題から選ばれています。上谷氏の作品はどちらも実戦型。ただし攻方の実戦型で入玉形というのが、いかにもフェアリーらしいところです。この12題は「ばか詰解答選手権・番外編」として、時間を計測しながら解くのも一興ですね。

Bコースは7題。見慣れないルールや難問があるので、じっくりと取り組んでください。

53B-1と**53B-2**は変寝夢さんによるPWC作品。しかし両作ともPWCだけではないフェアリー要素が付加されています。

まず**53B-1**では中将棋の「獅子」が導入されています。獅子は玉2手分の動きができる駒で、その特徴とPWCが組み合わさると何が起こるか、考えてみてください。

53B-2はPWCにKoko（本来の綴りはKōkoですが便宜上Kokoと表記します）が加わっています。初形で王手が掛かっているように見えますが、Kokoは周囲に駒がない場所への着手ができないというルールなので、56金とはできず（PWCで玉は復活しないことに注意）王手ではありません。王手を掛けるには攻方の香を玉の周辺のマスに動かす必要があるわけです。

KokoについてはWFP42号に小林看空氏の紹介記事がありますので、参考にしてください。

53B-3は橘氏お得意のキルケ作品。出題図を見るだけで大技登場の期待が膨らみます。また、**53B-4**と**53B-5**は「強欲協力自玉詰」という本邦初のルール。「強欲協力詰」が数多く作られるようになった現在でも、「強欲協力自玉詰」は発表されていませんでした。「強欲」の条件があるので自玉を詰めるのは大変ですが、だからこそ解き甲斐もあるはず。そして**53B-6**も橘氏の作品。シンプルな条件付けで、19手の比較的

長手数の実現した推理将棋です。今月は橘氏が活躍ですね。どれも力作なのでお見逃しなく。

53B-7は一乗谷氏による長手数推理将棋。「真似将棋」で盤面ほぼ全部（79箇所！）を使えという、パズルの要素の強い条件です。条件が多数ありますが、まずは条件1)2)を満たすことを考え、後から残りの条件に合わせると良いでしょう。

解答要項

解答締切：

第53回：2013年8月15日（木）

（※Aコース、Bコース共）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。f m検討済みなら.fmo形式のファイル添付を推奨します。

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【獅子】（獅）

中将棋の駒で、1手で1回または2回動ける。1回動くときは図の①または②の位置に動く。2回動くときは1手目で①の位置に、2手目で隣接する8枚のいずれかに動ける。結果的に動かなかつたり、動かずに①の位置の駒を取ったり、2つの駒を取ったりすることができる。



【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

【Koko】

着手は、そのまわりの8マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。王手にもこの条件は適用される。

【キルケ】

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

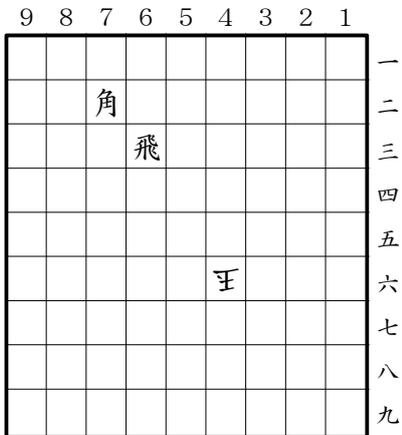
【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

《第53回 WFP 作品展Aコース》
解答締切：2013年8月15日（木）

■ 53A-1 小林看空氏作

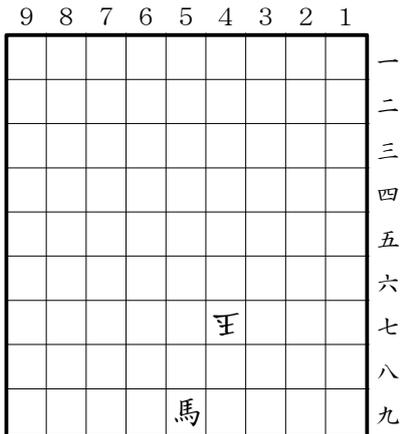
協力詰3手



持駒 銀

■ 53A-2 小林看空氏作

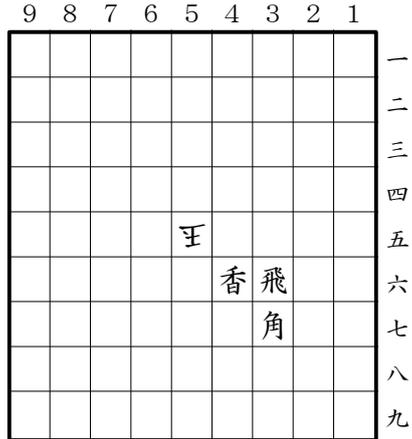
協力詰5手



持駒 銀

■ 53A-3 小林看空氏作

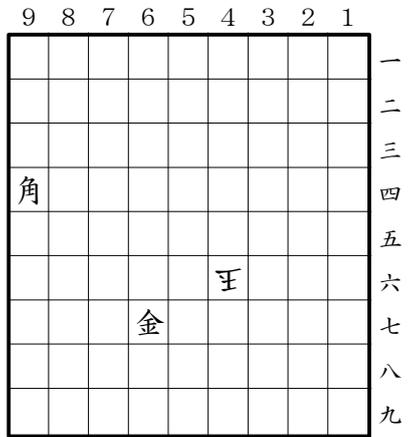
協力詰5手



持駒 なし

■ 53A-4 小林看空氏作

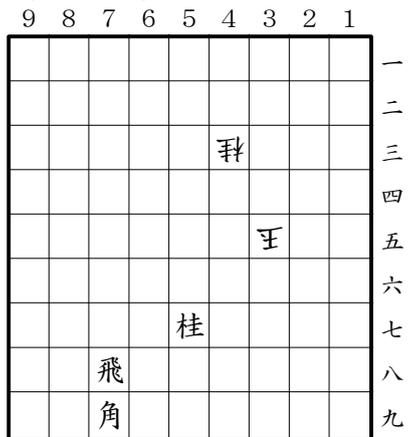
協力詰5手



持駒 角 銀

■ 53A-5 小林看空氏作

協力詰5手



持駒 なし

■ 53A-6 小林看空氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								馬
					飛			
			と					
			王					
					龍			
								角
							香	

持駒 なし

■ 53A-9 小林看空氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					王			
								馬

持駒 桂

■ 53A-7 小林看空氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			龍					
					王	龍		
		桂	桂					
			香					
			龍					

持駒 なし

■ 53A-10 小林看空氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							皇	龍
								と
				龍				
						角	王	
				桂				
								馬

持駒 なし

■ 53A-8 小林看空氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		飛						
				料				馬
			料	銀				
				王				
			桂		香			
							角	
				龍				

持駒 桂

■ 53A-11 上谷直希氏作

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					料			龍
						歩	歩	
					歩	王		
					歩			
						角	桂	香

持駒 なし

■ 53A-12 上谷直希氏作

協力詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
					銀	歩	科	六
					歩	歩	歩	七
					歩	王		八
					香	桂		九

持駒 角

■ 53B-3 橘圭伍氏作

キルケ協力自玉詰 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
馬								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

《第53回 WFP 作品展Bコース》
解答締切：2013年8月15日(木)

■ 53B-1 変寝夢氏作

PWC協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
王								一
								二
銀								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角

※91 玉は不動

■ 53B-4 橘圭伍氏作

強欲協力自玉詰 16手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		皇				王		一
		王				歩		二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 角 香

■ 53B-2 変寝夢氏作

Koko-PWC協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

■ 53B-5 橘圭伍氏作

強欲協力自玉詰 28手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
王								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

攻方持駒 桂4 香4

受方持駒 なし

■ 53B-6 橘圭伍氏作

推理将棋『帰巢本能』

A 「19手で終わった将棋はどんな将棋だったの？」

先手「僕はたった一つの駒を動かしてただけだったんだけど気付いたら勝ってたよ」

後手「18手目に、小駒の成駒を動かしたらその駒を最終手で取られて詰まされたんだ」

A 「うーん、それだけじゃ分からないよ」

後手「僕は2手目に52玉と指したよ」

A 「それでどんな将棋が分かったよ！」

さて、どのような将棋だったのでしょ

条件

- 1) 19手で詰んだ
- 2) 先手が着手した駒は1枚だけだった
- 3) 後手は18手目に小駒の成駒を動かし、先手は19手目にその駒を取った
- 4) 2手目は52玉だった

■ 53B-7 一乗谷酔象氏作

推理将棋『泣く金、マネーゲーム』

・「マネーゲームに手を出したって。危ない奴だなあ」

☆『真似将棋の相手をしただけだよ』

・「初めのうちは、不況だから景気を様子見てから、慎重に商品(タマ)を比較した上でお金を銀行に預けていたのに」

☆『初手から歩香桂、玉飛角金銀の順に8種の駒を一回ずつ動かしたんだ』

・「後に不況が続いた後、景気が跳ね上がったら、今度はすぐ銀行の金を動かしたね」

☆『後で歩香桂銀金の順に小駒を一回ずつ動かし、その直後に大駒を動かす一連の手順があっただけだよ』

・「連夜に金を動かしたって」

☆『金寄りの手は連続した2回だけで、他に連続して金を動かす手順はなかったよ』

・「空売りを2回やって、頭に来て金を動かしたって」

☆『空成りの手が2回あっただけだよ。2回

目空成りのすぐ後に玉頭の歩を突いてから金を動かしたけど』

・「箸も付けないで一人で動き続けたんだって」

☆『一つの駒を8回続けて動かした直後、端の手を指しただけだよ』

・「それなのに太ったんだって」

☆『駒取りは歩取りが2回あっただけだよ』

・「全ての物事は一歩ずつ地道に進めないと痛い目に会うよ」

☆『盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋1路ずつ前進させる一連の手順もあったよ』

・「せっかく稼いできた金が泣くよ。マネーゲームから早く抜け出さないよ」

☆『79手で79箇所着手して79金迄。真似将棋は先手が勝ったよ』

さて、どのような将棋だったのでしょ

条件

1) 79手で79カ所に着手して79金で詰んだ。

2) 駒打ちなしのマネ将棋★

※以下3)~9)は先手側の着手条件

3) 先手は、初手から歩香桂玉飛角金銀の順に8種の駒を1回ずつ動かした。

4) 先手は歩香桂銀金の順に小駒を1回ずつ動かした直後、大駒を動かした。

5) 先手の駒取りは2回だけで、いずれも歩を取る手

6) 先手の空成りは2回だけで、2回目空成りの直後に玉頭の歩を突き次に金を動かした。

7) 先手の金寄りは2回だけで、連続した着手だった。その他には金を連続して動かすことがなかった。

8) 先手は一つの駒を8回続けて動かした直後、端の手を指した。

9) 先手は、盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋1路ずつ前進させた。

★マネ将棋：後手は2手目以降直前の先手の指し手をマネ(55地点を点対称に着手)し続けた。

以上

推理将棋第 6 7 回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第 6 7 回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで 2013 年 6 月 20 日までに TETSU まで

(omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第 6 7 回解答」でお願いします。

推理将棋第 6 7 回出題 担当 DD++

先月の結果発表にて出題期間についてご意見を伺ったところ、やはり長くしてほしい方はいらっしゃるようです。私の独断で変えるわけにはもちろんいかないので今月はいつもどおりの出題期間ですが、次回以降の出題期間について TETSU さんと相談をしてみたいと思います。

さて今月は、初級は渡辺さんが初級不足に応じて作ってくださった問題。簡単でありながらちょっと考えるところもあり、初めて推理将棋を解く方にもおすすめできる一品です。中級は 3 ヶ月続いてしまいますが今月もチャンプさんから。14 手と中級にしては長めですが後手の手が限られているので考えやすいはず。上級は NAO さんから。タイトルの「十二橋巡り」というのは、NAO さんのお住まいの近く、潮来と佐原にある観光地水郷の観光スポットなのだそう。今はあやめが見頃でこの時期は特別に櫓舟遊覧もできるそうなので、関東にお住まいの方は休日にご家族で赴いてみてはいかがでしょうか。もちろん作品の内容もあやめに負けない見所のある問題ですよ。

練習問題

「さっきの将棋、▲76 歩△74 歩▲55 角△73 桂▲同角成△62 金まで見てたけどどうなった？」

「9 手で詰んだよ、って言えば残りの 3 手は分かるよね」

さて、残りの 3 手はどんな手だったでしょうか。

推理将棋 6 7 練習問題 (6 手目)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲		▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲	一
	▲		▲					▲		二
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	三
		▲								四
										五
		▲								六
▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	七
								▲		八
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	九

持駒 桂

本出題

6 7-1 初級 渡辺秀行作

41 馬迄で詰み 9 手

41 馬を作るのかかる手数は何手？

6 7-2 中級 チャンプさん作

歩の行進 14 手

後手条件を成立させるカラクリとは。

6 7-3 上級 NAO さん作

十二橋巡り 12 手

最終形を正しく予測することが重要。

■締め切り前ヒント (6 月 16 日 DD++)

初級：41 金を 52 へ上がるだけでは 96 角の利きの邪魔なので、そこからさらに……。

中級：「8 筋か 9 筋目指して初手 68 玉」はひっかけ。1 筋側で雪隠詰を目指しましょう。

上級：56 玉だと玉腹を塞ぐのが大変ですが、45 玉まであがればどうでしょう。

6 7-1 初級 渡辺秀行作

41 馬迄で詰み 9 手

「さっきの将棋、41 馬まで 9 手で詰めたとき、先手は持駒なしだったよ」

「そうだね、9 筋への駒打より後に 5 筋の着手があったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 41 馬まで 9 手で詰んだ
- ・ 終局時、先手持駒なし
- ・ 9 筋への駒打より後に 5 筋への着手があった

6 7-2 中級 チャンプさん作
歩の行進 14 手

「はい、この不成の初王手で詰みだね。」
「君（後手）は 1 つの筋の歩の手しか指してないのに、たった 14 手で負かされちゃったや。」

「歩を笑う者は歩に泣くってね（笑）」
「初手に 68 の升目へ指した手がマズかったかなあ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 14 手で詰んだ
- ・ 初手は 68 の地点への着手
- ・ 後手は 1 つの筋による歩の着手のみ（例：2 手目に△34 歩と指せば、最後まで 3 筋の歩の着手）
- ・ 最終手の不成が唯一の王手

6 7-3 上級 NAOさん作
十二橋巡り 12 手

「6 月は水郷あやめ祭り。アヤメとカキツバタとハナショウブは、よく似てるけど別の花だって知ってた？」

「花の名前は知らなかったけど、さっきの将棋、初手から 4 手目までは全て別の筋の手を指していたよ。初手と 2 手目は歩以外の手だったけど 9 手目は歩の着手だった。成る手はなくて、12 手で 12 カ所に着手して 12 地点の手で詰んだんだ」

「ぎっちら、ぎっちら、ぎっちらこ。潮来花嫁さんは舟でゆく。水郷の舟旅で十二橋巡りを楽しんだってことだね」

(条件)

- ・ 12 手で 12 カ所に着手して 12 地点の手で詰んだ
- ・ 初手から 4 手目までは全て異なる筋に着手
- ・ 初手と 2 手目は歩以外の着手
- ・ 9 手目は歩の着手
- ・ 成る手なし

■ 練習問題解答

問題以下、▲54 桂△72 銀▲62 馬まで。

短手数 of 推理将棋では右側の桂香を取りに行くのは大変ですが、そんな中でめげずに右桂を取って使う順の 1 つがこれ。8 手目 72 銀という 62 への飛と銀の利きを一度に消す手は推理将棋では基本手筋です。

なお右香の方は 9 手詰では 92 香で無駄手消化する以外に陽の当たることはありません。

ちなみに、5 手目が不成だと 6 手目を明かさなくても限定ですが、5 手目成の場合は解が作意を含めて 3 つ。このあたりの感覚が見についてくると問題を作るのがぐっと楽になります。

推理将棋 6 7 練習問題詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香				王	金	銀	桂	香	
二		飛	銀	馬				角		
三	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
四			歩		桂					
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 金

[序文]

今回、作品展の応募に対して DD++氏及び渡辺秀行氏から合計 5 作の投稿がありました。有難うございます。出題の内、1 題は担当作です。出題は私が思う難易度順になっています。また、作者名から手順を読むという要素を排除するために出題では作者名を伏せさせていただきます。採点は 5 段階でお願いします。

[解答締め切り]

平成 24 年 7 月 15 日

[解答送信先] keigotatibana@hotmail.com

[出題]

推 1

「先刻の 9 手で詰んだ将棋、55 にも 87 にも着手があったよね」

推 2

「先刻の 9 手で詰んだ将棋、17 に不成の手があったよね、兄さん」
「23 と 61 にも着手していたよ、弟よ」

推 3

「23 飛成 42 角 63 馬迄 13 手で詰んだ将棋はどんな将棋だったの？」

推 4 「眠れぬ獅子」

「——まで、第五期迷人戦は 12 手で迷人が挑戦者玉を詰ませて迷人位を防衛しました。この将棋を振り返ってどうでしょうか先生」
「興味深い手がたくさんありましたね。この 44 の手、この 44 の手、あとはこの 44 の手やこの 44 の手も研究してみたい手です」
「その中でも勝敗を分けた 1 手はどれになるのでしょうか」
「それはこの 4 手のどれでもなく、11 手目の『44 角成』ではないでしょうか。これで急に先手大変になりましたね」

推 5

「さっき、僕が見た着手は初手の 68 の着手と 89 の着手だったよ」

「89 の着手は何手目だっけ？それにしても 10 手で詰んだというのに同桂の着手が出るとは驚きだ」

推 6 「或る数学者と推理将棋」

「 $32+45+51+76=9$ 、と」
「なんだいそれは。通常 of 自然数体上の演算ではなさそうだが」
「ええ、まあ特殊な数式ですから」
「その加法はアーベル群なのかい？」
「あ、あーべるぐん……なんですか、それ」
「わからないか。では、その加法は可換かという問いなら理解できるか？」
「順番を変えてもいいかということですか？ それは問題ありませんが……」
「ふむ、そうか。なるほど仮にこれが剰余群だとすればその位数は 195 の約数のいずれか……いや、76 が存在するから 195 そのものか。 $195=3 \times 5 \times 13$ であるからして $\mathbb{Z}/195\mathbb{Z}$ の性質は……ブツブツ——」
「(32 の手と 45 の手と 51 の手と 76 の手があって 9 手で詰んだっていうただの推理将棋の問題なんだけどなあ)」

解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展

WFP5周年を記念して「頭を悩ます5手協力詰作品展」を開催します。今回は解答者の皆様にもご協力をお願いして解図に要した時間を解答に記入頂きましてどの作品が一番頭を悩ましたのかを選んでみたいと思います。人にはいろいろな考え方や解き方があると思いますので作品によって解図時間はバラバラではないかと想像しますが、果たしてどうなりますか？nあおP14より神無太郎氏提供でウォーミングアップコースを設けております。そちらで頭慣らしをしてからチャレンジしてくださいませ。

なお部門を2つに分けます。

A部門：無駄駒、花駒なし部門とB部門：無駄駒、花駒あり部門です。

無駄駒、花駒の定義は以下の通りです。チェック漏れがありましたら連絡下さい。

無駄駒：

その駒を盤上から取り除いて玉方持ち駒に加えても作意が変わらず完全であるもの、複数枚セットでの無駄駒もあり得る（例：「▲22歩▲23龍△11玉△32龍、持駒香、1手詰」の▲22歩と△32龍）

花駒：

その駒を盤上から取り除いて駒箱に戻しても作意が変わらず完全であるもの

【解答要項】

解答方法は通常の方法で結構ですが、**必ず解図に要した時間を記入下さい**。時間は時分秒までで結構です。なお解図時間とは実際に考慮した時間をお願いします。休憩を挟んだ場合その時間は除いてください。なお各作品別に解図平均時間を出しますが、30分以上かかった場合は30分で計算する予定（無解も30分換算）です。お一人だけ長時間掛かった人がいると平均値に大きな影響がでそうな為です。

解答締切：2013年7月15日（月）

送り先：たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp) までメールにて

呈賞：部門別で一番解答者の平均解図時間がかかった作品（2作品）と解答者2名に賞品をお送りします。

【A部門】

A-1 小林看空作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇		一
						科			二
					科	科	飛		三
			桂	王					四
			進						五
									六
							馬		七
									八
									九

持駒 角

A-2 神無太郎作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							皇		二
									三
									四
			歩						五
						王			六
					桂		入		七
						桂			八
									九

持駒 飛角

A-3 神無太郎作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								と	一
					科				二
						王	酒		三
									四
					角		歩		五
									六
				角					七
						桂			八
						香			九

持駒 なし

A-4 DD++作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						料		一
					と		料	二
				金				三
						王		四
							銀	五
				龍				六
								七
								八
						角		九

持駒 なし

A-7 変寝夢作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			角					一
						龍		二
								三
								四
					王			五
				龍				六
							馬	七
					桂			八
								九

持駒 桂

A-5 DD++作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						皇	皇	一
					龍			二
				龍				三
								四
								五
						王		六
								七
								八
					銀	銀		九

持駒 桂

A-8 若林作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
			角		角			三
								四
						飛		五
					王			六
								七
								八
								九

持駒 なし

A-6 変寝夢作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
			角					二
								三
			銀				飛	四
								五
					王			六
								七
								八
								九

持駒 桂

A-9 たくぼん作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						皇		一
				皇			飛	二
						王		三
					角		又	四
						桂		五
					飛		と	六
								七
								八
								九

持駒 金2

【B 部門】

B-1 神無太郎作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
				龍	桂	桂			六
					桂	王	角	桂	七
							角		八
				龍					九

持駒 なし

B-4 若林作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				香				香	二
					銀				三
							銀		四
						王			五
				銀					六
							銀		七
				香				香	八
							飛		九

持駒 角

B-2 神無太郎作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
飛	角	角	銀	桂	銀	王	香	銀	九

持駒 なし

B-5 たくぼん作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								銀	四
					王				五
				銀					六
					角				七
				香	香	銀			八
									九

持駒 なし

B-3 DD++作 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			馬	馬					一
					香	龍			二
							香		三
				香	王	銀			四
			馬	香				銀	五
									六
					又	又			七
									八
									九

持駒 角

解くのに頭を悩ます？ 5手協力詰作品展
ウォーミングアップコース 神無太郎

太郎「源泉館級の副産物が14作あります。
Wコース（ウォーミングアップコース）にでも
どうですか？」

☆太郎さんより正作品展の副産物（5手協力詰）
14作を提供頂きました。ありがとうございます。
神無太郎源泉館ですね。本作品展や全国大会ア
トラクションのウォーミングアップとして解い
てみてください。なお解答は来月号に発表しま
す。解答募集は行いませんが感想等あれば本作
品展解答の際（もちろん単独でもOK）にでも
お書き下さい。

1 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
				桂					五
				角					六
				角					七
				香					八
									九

持駒 なし

2 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
									五
		飛							六
							角		七
									八
									九

持駒 角銀2

3 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				王					三
									四
				王	王				五
									六
									七
									八
									九

持駒 角銀2

4 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				王		王			三
						王			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角2

5 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				王					二
									三
				王	銀	銀			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

6 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	角								一
		飛銀				王			二
						將			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

9 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						王			六
									七
									八
								歩	九

持駒 飛2角

7 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							王		五
									六
					銀	銀	王		七
									八
									九

持駒 角2

10 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			銀		桂				一
									二
			飛銀		銀	王			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

8 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
	銀					王			五
									六
							香		七
				角					八
									九

持駒 金香

11 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								王	三
									四
									五
									六
									七
								桂	八
							香	香	九

持駒 なし

12 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				角				一
				王			飛	二
			飛					三
								四
								五
				銀				六
								七
								八
								九

持駒 香

13 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
				科				二
				王				三
				桂				四
								五
				飛	桂			六
								七
								八
								九

持駒 桂

14 神無太郎作 5手 協力詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
				銀	桂			二
							龍	三
	銀							四
				王				五
				飛				六
								七
								八
								九

持駒 角2

JIGSAW BOX # 08出題

皆様お久し振りです。

今年は他のスケジュールとの兼ね合いもあり、余り頑張り過ぎない方が身のためという結論に達しまして、必要最低限の担当業務の範囲でやらせて頂きます。悪しからず。

解説も基本的に作者コメントと短評のコピペで済ませたいと思っているので、詳細なコメント歓迎です。

今年は1題だけですが超難解作ではない筈。

小峰

解答送付先：jigsawbox@gmail.com

- ・ 解答締切：7月28日（日） 多少遅れ可
- ・ 結果発表：WFP 第62号に掲載します

ルール説明

【対面】敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入り替わる。

【取禁】手順中に駒を取る手があってはならない。「王手」や「詰み」の概念は通常通り。

08-01 神無七郎

取禁対面協力詰 83手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		飛	王					一
	角				飛			二
			飛					三
					王	王		四
	王							五
				王				六
								七
	王	王						八
								九

持駒 桂

第52回WFP作品展結果 担当:神無七郎

今回の作品展は全4題。ツインが一局あるので問題数は5題でした。解答者も5名。まるで出題月の「5月」に合わせたみたいですね。

〔第52回WFP作品展解答成績〕(敬称略)

○:正解 - :無解

解答者名	1a	1b	2	3	4	計
橘圭吾	○	○	○	○	○	5
たくぼん	○	○	○	○	○	5
一乗谷酔象	○	○	○	○	-	4
DD++	○	○	-	○	-	3
変寝夢	○	○	-	-	-	2

たくぼん氏が全題正解なのはいつも通りですが、今回は橘氏も全題正解を達成されました。難解な52-4がご自身の作だったのも幸いです。と思いますが、前回も惜しい所まで行っており、氏の実力からすればむしろ当然かもしれません。

■ 52-1 変寝夢氏作 (正解5名)

a) 協力詰5手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一									
二									
三									
四									
五									
六									
七				馬		龍			
八						龍		龍	
九								王	

持駒 E

b) 協力詰5手

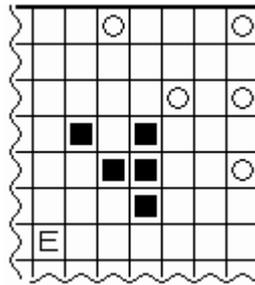
	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一									
二									
三									
四									
五									
六									
七				馬		龍			
八								龍	
九						龍		王	

持駒 E

【ルール】

• Non-Stop Equihopper (E)

盤上の任意の駒を中心に現位置から点对称の位置に着地する。着地地点に敵の駒があれば取れる。現位置と着地点を結ぶ線上に余計な駒が挟まっても跳べる。



(○がEの利き。
■は敵または味方の駒。)

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【解答】

a) 17E 29馬 57E 18龍 38金 まで5手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一									
二									
三									
四									
五									
六									
七					E		龍		
八						金		龍	
九							龍	王	

持駒 なし

b) 55E 59馬 同E 29龍 39角 まで5手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一									
二									
三									
四									
五									
六									
七						馬			
八								龍	
九					E	角	龍	王	

持駒 なし

【作者のコメント】

- a) 3七馬は3手目のハードル用と2手目2七馬、5七EQ、1八玉以下を防いでいます。最終手が狙い
- b) 最終2手はいい味だが、前半が甘くなつたか

【解説】

E (Non-Stop Equihopper) による王手の掛け方と受け方を学べる、絶好のツイン。

例えば a) は初手 17E・55E・95E の3通りの王手があります。このうち 95E の利きは 38龍によって妨げられません。これが「Non-Stop」の意味です。日本では単に Equihopper と言え、Non-Stop Equihopper を指すので、95E のような手も忘れずに読んでください。

次はEに対する受け方です。Eを取っては手が続きませんが、玉が逃げのような平凡な受けでも詰みません。しかしEは hopper、つまりジャンプ台によって利きが生じる駒です。従って「ジャンプ台が動く」という受けが可能です。例えば a) の初手は 17E ですが、これに対する受けの候補手は、18馬が動く手だけでも10通りもあります。つまり受方の手番で開き王手のような感覚の手が指せるわけです。これは作家から見るととても魅力的な性質です。

もう一つ重要なEの性質に注目しましょう。Eのジャンプ台を自駒で作った場合、仮に相手駒によってそのジャンプ台が撤去されても、Eの利きは消えません。自駒の代わりに相手駒がジャンプ台になるからです。今回のツインは両者とも最終手にその性質を利用しています。「取れるものなら取ってみろ」とばかりに相手の駒の利き筋に打つ手は、詰将棋の原点「捨駒」ですが、手順の途中ではなく最終手にこれが出るとちょっと不思議に感じます。

本局はこのようなEの諸性質を活かし「Eの王手→限定移動→質駒の入手→限定移動→相手利き筋への着手」という共通のストーリーに沿って手順を組み立て、その枠組みの中で、Eを使う方向や質駒の種類を対比させています。手堅い作りの組局と言えるでしょう。

【短評】

DD++さん

Eの王手を回避するには「Eを取る」「玉を逃げる」「ジャンプ台を移動する」の3つ。そのうち3番目を封じることを考えれば「ジ

ャンプ台を動かされた直後その場所に駒を打つ」という流れが見えて解決。

一乗谷酔象さん

強力な受駒が並んでも簡単に詰んでしまうんですね。

☆ 合駒が利かない怖さは、普段は桂に対して感じるものですが、Eも同じ怖さがあります。桂の手筋をEに適用すると、様々な新手筋が出てくるかもしれませんね。

橘圭伍さん

金と馬の役割が変わる綺麗なツインです。

たくぼんさん

Eの作品は初めて解きましたが、面白いのか面白くないのかよく分からないというのが感想です。今後に期待でしょうか。

☆ Eは分かりやすい駒なので、私は結構いけるとおもいます。単純にピョンピョン跳ぶ手順も楽しそうですし、パリティ絡みの構想作も良いでしょう。作風に応じて使い方も様々ありそうに思います。

■ 52-2 神無七郎作 (正解3名)

キルケ協力白玉詰 20手

									王	一
										二
										三
										四
									馬	五
										六
						王	龍			七
										八
										九

攻方持駒 飛角
受方持駒 なし
※37玉は不動

【ルール】

•キルケ

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

■ 52-3 DD++氏作（正解4名）

将限定協力詰 37手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			銀	王		銀			一
									二
									三
									四
				角					五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩18

【ルール】

- 将
協力系ルールで「すかし詰」を可とする。
- 限定
駒を余らせず、指定手数で詰める。

【解答】

52歩 61玉 62歩 52玉 53歩 41玉
 42歩 31玉 32歩 21玉 22歩 32玉
 33歩 42玉 43歩 同玉 44歩 53玉
 54歩 62玉 63歩 71玉 72歩 同玉
 73歩 81玉 82歩 91玉 92歩 82玉
 83歩 同玉 84歩 92玉 93歩 91玉
 72歩成 まで 37手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王									一
		と						歩	二
歩			歩					歩	三
	歩			歩	歩				四
				角					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

ご覧いただければすぐにお分かりかと思いますが、持駒が歩 18 の限定詰を作ってみました

のです。

無駄合概念なしでやると駒数はかなり増える上に最終手が歩の手にできないのでそこだけ妥協しましたが、限定詰の出自からすると無駄合ありにするのはそれほど突飛でもないかなと。

51玉→41玉としても完全（16手目 43玉で同一局面になる）ですが、51玉の方が左右どちらに追い込むのかわからなくて面白いかなと思うのでこちらを投稿します

【解説】

最短手数で歩 18 枚を使い切れという問題。ルール設定と手数から攻方が「歩を打つ」以外の手を指せるのは1回だけなので、単に歩を打って取らせるだけでなく、最後に歩が動いて王手…即ち開き王手ができる形を作ることも同時に考えなくてははいけません。

歩打に対する玉の逃げ方も考慮が必要です。玉がある筋から隣の筋に移動するとき、元の筋に歩が残ってしまいます。二歩禁ルールや角の利き筋を考慮すると、効率の良い歩の並べ方は意外と限られてきます。

初手から「52歩 61玉 62歩」の3手はほぼ必然ですが、悩ましいのが玉を左辺で詰ますのか、右辺で詰ますのかの選択です。（結論から言うと、詰ませるのは左辺です。）もし初形が 41玉型なら玉の動きは「右に行ってから左に行く」ですが、51玉型から始めたことで「左にちょっと行ってから右に行って、その後左に行く」という味のある手順が生まれました。作者が 41玉型ではなく 51玉型を選択したことで、紛れだけでなく、手順も味わい深くなっています。

最終手 72歩成の直前の形を見てください。右辺は角の利き筋に沿って歩が並び、左辺は 73歩以外角筋を外して歩を並んでいます。右辺は歩の消化だけのために使い、左辺は開き王手を目標としていることが良く分かる構図です。28手目の 91玉が盲点になったという感想がありますが、これは 91玉が詰上り位置だからでしょうね。作者の狙いとは別のところに盲点が発生する事例の一つと言えるでしょう。

【短評】

一乗谷酔象さん

歩の枚数びったり。

将限定・ルール名にちょっと違和感あります。

☆ 違和感は「将」と「限定」どちらでしょうか？

回避するために 11 を開けながら香を外していくのが狙いです。

少し先入観があり、4 枚目は出来ないと思ってましたが先に投稿した図で、26 金→67 金が可能というのを見て特定の角位置・金位置ならば 4 枚目を入れる事が可能という事に気付きました。

本当は規則的な趣向になる予定でしたが FM 先生に尋ねた所、15 に移動する破調で短絡してしまう事が分かりました。構図・収束以外は FM 先生での発掘になります。

当初の図に比べて元考えていた手順も入り、完成図と言える物になりました。不可侵領域駒の使用が気になるかもしれませんが駒を余分に使うかの選択しかないと思います。投稿時に再考を促してくれた担当氏には感謝します。

【解説】

本局の狙いは作者自身のコメントでの確に説明されていますが、補足の意味も込めて、重ねて説明しましょう。

キルケは取られた駒が最も近い実戦初形位置に戻るルールです。しかし将棋盤は左右対称ですから、5 筋で金銀桂香及び成駒の全圭杏が取られた場合、最も近い実戦初形位置は 2 つあります。その両方が空いている場合、手番側が復活場所を選べるのですが、片方しか空いていない場合は選択の余地がなく、空いている方に復活します。本局の構想はキルケルールのこの性質を積極的に利用するものです。

このルールの適用対象となるのは 5 筋に並んでいる香です。52 飛を入手すれば、「87 飛 同飛成」というキルケらしい詰上りが見えていますが、5 筋の香を何とかしないと、52 飛を手に入れることはできません。香を 5 筋で取る場合、1 枚だけなら取った時、11 に復活させれば良いのですが、2 枚目も続けて取ろうとすると、すでに 11 が埋まっているため 91 に復活せざるを得なくなります。これでは自玉に王手を掛ける反則になってしまいます。

では、91 に香を復活させないためにはどうしたら良いのでしょうか？

考えれば手段はあるものです。11 に香が復活した後、これを邪魔にならない場所に動かしてやれば、11 が再び空所になります。そうすれば 91 への香の復活は防げるではありませんか！初形の配置をよく見ると、1 筋に 16 角や 15 角として香を呼び込む余地が与えられており、こ

の方針が正しいことを裏付けています。この構想だけでも本局はキルケ作品の系譜における重要な位置を占めることになるでしょう。

しかし本局、実は仕組みだけを見抜いても、正解にはたどり着けません。特に迷うのが角の使い方。角の入手の仕方は角合を直接取る以外に、金で掠め取るような方法もあります。香を入手した時には 3 筋に香を打って角を入手することもできます。2 枚の角を連携させるのか、1 枚ずつ使うのかも迷うでしょう。このように多岐の紛れがある中で最短手順を求めるには丁寧な読みと、最後まで解図を投げ出さない粘りが必要で、作者以外で正解にたどり着けたのは、たくぼん氏だけでした。

作者の言葉にもあるように、本局が不規則趣向になったのは、非限定の防止が目的であり、それが狙いだったわけではありません。ですから、今回無解だった方も、最短手順でなくとも自玉を詰ますのに成功していれば、半分解けたと思って良いでしょう。また、本局の投稿原図には 16 香が置いてあり、香移動のヒントになっていました。推敲により 16 香が除かれ、5 筋に香 4 枚が配置できたことは本作の価値を高めていると思います。

【短評】

一乗谷酔象さん（※無解）

構想は解りましたが、手数短縮が難しい。最初 100 手越えから、90 手台、ようやく 80 手台。もう一息ですが・・・

変寝夢さん（※無解）

相当苦心したんだろうなと思わせる手順。同じキルケでも 2, 4 では感じ方が全然違いました。ルールと創作動機の関係性について考えるのも面白いかな。

☆ 作品の志向するところが感じ方の違いにも反映しているのでしょうか。52-2 は既存の手筋を使いアレンジの腕で勝負する B 型作品、52-4 は新機軸を世に問う A 型作品ですね。

たくぼんさん

不規則趣向なので読みが必要。11 を空けさせる手順が半端ない面白さでした。

● 無しでは難しいのでしょうかね。

☆ 作者以外で本局唯一の正解者となったのは、

たくぼんさん。「感性」には向き不向きがありますが、「根性」は万能。ルールが多様なフェアリーこそ、根性派が活躍できる舞台であることを証明するかのようです。

●を使わない構図が可能かどうかは私も考えたのですが、「あと1枚」がなかなか消せませんでした。詰将棋では桂香を使い切ってしまうと「壁」用の駒が不足してしまいがちです。桂香は倍くらい欲しいですね。

【総評】

DD++さん

52-2、52-4は難航しているので、もし解けたらその時に追加で送ります。

橋圭伍さん

初の全題正解が出来そうです。

変寝夢さん

作品数が4局で自作が2つ、これでダメならまあ全部解ける月はないでしょう(>_<)。

まあそれにつけても、次回の作品数の多さ。頑張ります。

たくぼんさん

ほどよい難易度で楽しかったです。

☆今回のように出題数が少ないと、その分易しい問題も少なくなるので、全題正解できた人、自作以外解けなかった人と明暗が分かれてしまいました。次回の第53回はAコース・Bコース合わせて全19題。難しい問題もありますので、比較的長い解答募集期間を有効に活用して、解答をお寄せください。もちろん易しい問題だけでも構いません。

WFP 作品展：今後の予定

7月は「氾濫」の結果稿作成と重なるため、結果稿はお休みさせていただきます。今後の予定は以下のようになっていますので、予めご了承ください。

月	出題稿	結果稿
7月	第53回（再々） 第54回	お休み
8月	第54回（再） 第55回	第53回

以上

Fairy of the Forest #35結果発表

- 2013年02月20日：課題発表：(協力詰)
- 初手と最終手と同じ
- 2013年05月15日：投稿締切
- 2013年05月20日：出題
- 2013年06月15日：解答締切
- 2013年06月20日：結果発表

- 結果発表

【今回の解答者】(敬称略、到着順)
 (○は全題正解者)

○神無七郎、○たくぼん、変寝夢、占魚亭
 ☆相変わらず少ないです。ちょっと寂しい。

■ 35-01 たくぼん 協力詰7手(正図)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
金										四
玉	王									五
		歩								六
馬		龍								七
	歩									八
龍										九

持駒なし

87龍 86角生 96龍 同玉 98龍 97角生
 87龍 まで 7手

(詰上り図)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
金										四
玉										五
王		歩								六
馬	龍									七
	歩									八
										九

持駒なし

作者一角の不成スイッチバックが入ったので納得の作品。

七郎一角による蓋の開け閉めが楽しい作品。
 自分だったら77龍は98に置きますが、紛れを重視したこの選択はたくぼんさんらしいと思います。

☆98龍の方が趣向色は強まりますね。

変寝夢一なるほど、角も最終2手目で元にもどっている。

☆好小品だと思っていたのですが……。

占魚亭-87龍、86角生、76龍、96玉、97歩、同玉、87龍迄。初手・最終手同一着手と分かっているなければ、突歩詰の可能性を考えるとこころ。

☆これは余詰ですね。作者を含め誰からも指摘がなかったのですが、「76歩は攻方」が正しいようです。受方だと、上記順以外にも3手目76龍で色々な余詰があり、また初手76龍以下でも余詰みまます。誤図を出題して、申し訳ありません。

■ 35-02 小林看空 協力詰35手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
					金	金	金	香		四
				銀	銀	銀	銀	角		五
			角	金	歩	歩	歩	歩		六
			飛	歩				王		七
			飛							八
			王							九

持駒香

19香 18香 同香 27玉 29香 28香
 同香 18玉 27香 同玉 29香 28香
 同香 37玉 39香 38香 同香 47玉
 49香 48香 同香 38玉 47香 37玉
 39香 38香 同香 28玉 37香 27玉
 29香 28香 同香 17玉 19香
 まで 35手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					金	金	金	歩	三
				銀	銀	銀	銀	角	四
			角	金	歩	歩	歩	歩	五
			歩	香	香		王		六
			飛				香		七
			王					香	八
									九

持駒 なし

作者一玉がわざわざ4筋まで行く意味づけが面白いと思う。

たくぼん一香を品切れにする展開とは予想外でした。

変寝夢一47に香を置く構想がたまらない。

七郎一詰上りに残る47香・37香の存在感。合駒を品切れにするため、邪魔にならないところに配置しておくのはまだまだ目新しい構想ですが、無理作りをせず、一筆書きでサラッと仕上げたのが爽やかですね。

☆初手は実質19香しかないなので、還元玉で19香まで合利かずの詰上りになることは予想できます。そのためには18香合を品切れにする必要があるのですが、本手順が成立する仕組みとなっています。序で注意しなければならないのは8手目18玉。ここですぐに37玉、39香、38香…と左辺に展開すると、18香が残ったままになるので、17玉と戻ることが出来なくなります。ここをクリアすれば、以下は香打香合を趣向的に繰り返すうちに、狙いの詰上りが得られます。

☆作者に作品不足を訴えてから本作が投稿されるまで、わずか数時間。浮かんだアイデアをあっさり仕上げた感じですが、さすがに隙がありません。作者にとっては即興作とはいえ、課題を満たす論理が趣向的手順と融合した、完成度の高い作品だと思います。

■ 35-03 神無七郎 協力詰 53手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					王			馬	四
				料	料				五
			銀	香	王	香	香	銀	六
									七
									八
									九

持駒 歩7

57歩 同桂左成 34馬 46玉 47歩 同成桂
24馬 56玉 57歩 同桂成 74馬 67玉
34馬 77玉 44馬 78玉 34馬 67成桂
79歩 77玉 78歩 同成桂 44馬 67玉
34馬 57玉 24馬 46成桂 58歩 67玉
34馬 66玉 44馬 55桂 84馬 56玉
34馬 45成桂 74馬 46玉 47歩 同桂生
64馬 55桂 24馬 56玉 74馬 66玉
67歩 同桂生 84馬 56玉 57歩 まで 53手

(詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					王			馬	五
					手				六
					王			銀	七
				料	歩	料			八
									九

持駒 なし

作者一57歩(打)に始まり57歩(突)に終わる作です。

詰上りが左右対称ではありませんが、左右で同じことをやろうとすると非限定が生じるのでこうなりました。

変寝夢《無解》一打ち歩詰めではないのでしょうね(笑)。

☆攻方は2枚馬と持歩を駆使して局面を変化させていくしかないわけですが、馬は受方飛によってピンされているため横にしか動けません。

そこで突歩による詰上りとなるのですが、これは課題からも明らかです。

たくぼんー左右対称形で内容も謎解きで楽しんで課題もクリアとは素晴らし過ぎる。

☆02の看空作について「課題を満たす論理が趣向の手順と融合した、完成度の高い作品」と書きましたが、これは本作にもそのまま当てはまります。本作はさらに左右対称の初形美と成桂および合駒桂操作の複雑性が加わり、美的要素とパズルの要素も包含した、理想的仕上がりとなっています。

☆手順の粗筋を示すと、

- ①57歩打で45圭・65圭を成らせる。
 - ②2枚の成桂を動かす。
 - ③58歩を打つ。
 - ④2度の55圭合から桂生で47・67に壁を作る。
 - ⑤58歩を57歩と突いて詰め上がる。
- となります。

①の2枚桂や②の2枚圭は邪魔駒になっているため、移動を図るわけです。

☆なお、2手目を同桂「右」成と取ると、詰上り図の「45圭・78圭」が「65圭・38圭」に替わ

ります。たくぼんさんはこの解答でした。

■ 35-04 たくぼん 協力詰 95手

							香	香	飛
銀	銀	銀	銀	金	金	金	歩	飛	
歩	歩	歩	香	歩	歩	金	歩	歩	
		桂			角	香			
入	桂			角	王	入	桂		

持駒なし

38角 58玉 49角 69玉 58角 79玉
 68角 89玉 67角 78歩 同角 88玉
 79角 77玉 88角 68玉 69歩 59玉
 77角 68歩 同角 49玉 67角 58歩
 同角 38玉 49角 同と 39歩 同玉
 57角 48角 同角 同と 17角 28角
 同角 49玉 27角 38歩 同角 58玉
 47角 67玉 58角 同と 68歩 57玉
 39角 48角 同角 68玉 57角 同と
 69歩 59玉 77角 68角 同角 48玉
 59角 38玉 39歩 49玉 27角 38歩

同角 58玉 47角 67玉 58角 78玉
 67角 同玉 68歩 77玉 67歩 68角
 同角 88玉 79角 77玉 88角 67玉
 49角 58歩 68歩 同玉 79角 59玉
 68角 48玉 59角 47玉 38角
 まで 95手

(詰上り図)

							香	香	飛
銀	銀	銀	銀	金	金	金	歩	飛	
歩	歩	歩	香	歩	歩	金	歩	歩	
				入	王	香			
				歩		角			
入				角		歩	桂		

持駒なし

作者ー課題に合致させようと無理作りの感じがちよつと残念。

☆原図はもっと手数が短かったのですが、締切ギリギリまで粘って本図に到達。作者は無理作りとおっしゃいますが、中途半端な表現になるよりは良かったと思います。

変寝夢《無解》ーなんとなくは趣向っぽい手順になるのですが……。

☆2枚角で追い回すのですが、ポイントを押さえないと無限軌道に陥りそうですね。

七郎ー紛れの森を右往左往する間に、様々な角の使い方を学べる作品。

まずは「99と」を引っ張って来ようとして大幅な手数オーバー。

次に合駒で発生させた歩を「と金」にし、「39と」を寄せて「58と・59と」の壁を作る筋を読んだものの、これも手数オーバー。

その次は合駒を動かさず「58歩」をそのまま壁として利用する筋を読んだものの、まだ6手オーバー。

こうした試行錯誤の末、ようやく壁の形を「57と・58歩」とする順に到達。何とか解けました。

せつかく読んだ紛れですから、この中に出てきた角の使い方を自分の創作に役立てたいところですね。

☆99 とは余詰防止駒ですね。こちらではなく 39 との方が鍵を握る駒でした。手順のポイントを略記します。

- ①77 桂を消去 (77 角を可能にする)。
- ②49 角捨て以下、角打角合・角捨てを交えながら、39 とを 49→48→58→57 と移動(57 を塞ぐ)。
- ③39 歩を打つ (最終手 38 角の支え駒)。
- ④58 歩合を打たせる (58 を塞ぐ)。
- ⑤38 角まで詰め上がる。

☆特に②のと金移動が圧巻で、他にも有力な紛れがある中、この伏線に気づくのは容易ではありません。角を1枚を捨てても合駒で取り戻せるのですが、どのタイミングで捨てるかも先を見越していないと決断できません。

☆本作は巧妙な伏線を蔵した難解作でした。

【総評】

占魚亭－1問のみですが……。

☆誤図で失礼しました。

たくぼん－自作はあれですが面白く楽しめる作品群でした。

七郎－今回の出題は自分の好みの作品が並んでいて楽しかったです。

「最初と最後が同じ」というだけで何となく手順にストーリー性を感じられるので、この課題はなかなか良いと思います。

☆課題はマグレ当たりの感もありますが、内容的には充実していたと思います。

変寝夢－3、4は手強そうな感じですね。結果稿が楽しみです。

☆両作とも傑作なのに、わずか1名にしか解いてもらえなかったのが残念です。

Fairy of the Forest #36課題発表

- 2013年06月20日：課題発表：(協力詰) 王手駒と同種の合駒
- 2013年07月15日：投稿締切
- 2013年07月20日：出題
- 2013年08月15日：解答締切
- 2013年08月20日：結果発表

■ 課題発表

前回締切をひと月延長した分を正常化するため、今回はひと月短縮することにします。そのぶん課題は易しめ。今回の02や04でもクリアされているんですがね。王手や合駒は「打」でなくても可とします。

多くの方々のご投稿をお待ちしています。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

推理将棋第66回出題解説

担当：DD++

出題：平成24年5月4日
 解答締切：平成25年5月20日

初級問題募集をしてみたところ、渡辺さんから2作、橘圭伍さんから1作の投稿をいただきました。早速来月から使わせていただきます、ありがとうございます。ベテラン作者からだけでなく初めて作ってみる方の挑戦も引き続きお待ちしておりますよ。

66-1 初級 DD++作 居玉は避けよというけれど 11手

「昨日『居玉は避けよ』って聞いたから、早速あることを試したんだ」

「何をしたんだい」

「後手番で、8手目までかけて玉を端に移動してみた」

「そりゃまた極端なことを。で、どうなった？」

「7手目から連続王手をかけられて、そのまま11手で詰まされちゃった。」

「最後まで駒を成らねはしなかったんだけどね」

「あらら。何事もほどほどが一番だね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 8手目に後手玉が端（1筋か9筋）に移動した
- ・ 7手目から最終手まで先手の連続王手
- ・ 駒成はなかった

出題のことば（担当 DD++）

邪魔な後手駒をどかす方法は？

追加ヒント：

邪魔になる駒をどけるには▲33角不成が有効。最後は歩で玉を追い込みます。

推理将棋 66-1 解答

- ▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △同玉
- ▲2六歩 △2四玉 ▲2五歩 △1五玉
- ▲1六歩 △1四玉 ▲1五歩 まで11手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	香		香	爵	科	皇	一
	飛						馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
								王	四
							歩	歩	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩			七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

このような途中にハードルが設けられている問題は、ひとまず詰みを見無視してそのハードルを目指してみるのがポイントです。今回の場合は「8手目端玉」がどのように実現できるかを考えるわけですね。

玉は1つずつしか動けないので当然「2手目に4筋か6筋」「4手目に3筋か7筋」「6手目に2筋か8筋」という過程を経るわけですが、すぐにわかる通り他の駒が非常に邪魔。これをどかす仕事は手数都合で先手にしかできません。すなわち、3手目に3筋の駒を取って4手目同玉か、5手目に2筋の駒を取って6手目同玉か。

前者は「76歩、42玉、33角不成、同玉、何か、24玉、王手、14or15玉、以下」と進みます。7手目に王手をするには5手目26歩から7手目25歩。あとは15玉、16歩、14玉、15歩で条件を満たしてあっさり詰み、こちらが正解。

念のため後者も確認してみると、「76歩、42玉、33角不成、32玉、22角不成、同玉、33~88角、12玉、11角成、同玉、12香」で3連続王手はできますが明らかに詰まず、こちらは失敗となります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO 「4手目が岐路。連続王手で詰ますには中段に出てこないといけません。」

■22角をどける、と決めつけてしまうと迷宮入りですね。

斧間徳子 「11手ですけど、確かに初級の客寄せ問題ですね。」

■2桁手数ですがこれくらいなら初級でも大丈夫。

橘圭伍 「12へ向かうか14または15へ向かうかの選択だけですが久しぶりの懐かしい形です。」

■たしかに最近あまり見ない形だったかも。

はなさかしろう 「先手と後手が協力して条件を満たす——シンプルで解きやすいデザインが良いです。」

■気持よくスパッと解かせるための問題、だったはずなんですけど案外そうも行かなかったようです。

鈴木康夫 「「不成は無かった」が巧妙な条件で4手目から32玉22角生同玉の紛れに悩まされました。」

■「成はなかった」ですね。「不成はなかった」だとなお簡単になりますが、「成があった」だと5手目22角成(王手)の取扱いで逆にマギレ筋がややこしい話に。

渡辺 「なぜか、5手目は2筋か8筋の駒を取る必要があると勘違いしていたため、9手目の王手がかかりませんでした。3手目が分かればあとは簡単。」

■想像以上に22角不成で悩む方が多くてびっくり。。

諏訪冬葉 「12に追い込もうと思ったら手が足りない。しょうがないので上に出してみました。」

■あれ、33同玉ってそんなに見えにくいですか

ね……？

チャンプ 「ここで新格言を一つ「玉の突進も避けよ」

■しかし7手目指した局面までは明らかに突進した後手が大優勢ですよ。どうしてこうなった。

しまぎろう 「△12玉しかないという先入観にはまりました。」

■やはり不成なしの方にしておくべきでしたか……。

たくぼん 「12では王手がかけ難いですよ」

■連続王手でなくてよいなら41角成から23金で簡単なんですけどね。

はらたつ 「最初は12玉で詰まないか確認。あとは簡単でした。」

■やっぱりみんな12からなんですけどね……。

キリギリス 「玉が端=12玉とってしまったので難解でしたが、ヒントの「歩で玉を追い込む」で分かりました。」

■ここまで12派が多いのは本当に想定外です。

隅の老人B 「どちらの端に行こうかな？先ずはこれから始まった。」

■9筋はさすがに10手(先手玉なら9手ですが)かかりますね。

ひろぼん 「玉が12に行くと思ひ込んでしまいました。普通はありえない上に行くことに気づいてスッキリ。」

■推理将棋だと中段玉は珍しくないのですよ。

占魚亭 「「7手目まで王手なし」「玉の移動先は12」と思ひ込んでいたので大苦戦。お恥ずかしい(苦笑)。」

■いえいえ、思ひ込みでハマった方はかなり多

かったようで、完全にこちらの失敗でした。

S.Kimura 「2筋の歩を付くことに気付かず、どのように詰ませるのかちょっと考えさせられました。」

■この形はけっこう手軽に作れるので、知っておくと解図が捗ることもあるかもしれません。

正解：18名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん
 しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人
 Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼん
 さん 橘圭伍さん チャンプさん テイエムガ
 ンバさん NAOさん はなさかしろうさん
 はらたっとさん ひろぼんさん やまかんさん
 渡辺さん

6 6 - 2 中級 チャンプさん作
大駒を越えて 10手

「さっきの将棋、駒を成る手も無く 10手で詰んだみたいだね。」
 「ああ、大駒の1マス下にいる桂を跳ねる手が3回もあったよ。」
 「初手に玉を動かしたのは疑問手じゃないかな？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・初手は玉の手
- ・成る手なし
- ・大駒の1マス下にいる桂を跳ねる手が3回あった

※本問では【下】とは指し手側から見て下の意味。つまり先手が桂を跳ねるなら九段目側、後手が桂を跳ねるなら一段目側が下になります。

出題のことば (担当 DD++)

盤面を広く見た方が解きやすいでしょう。

追加ヒント：

桂跳ねは全て後手桂が後手大駒を飛び越えます。トドメを指すのは22地点の不動角。

推理将棋 6 6 - 2 解答 担当 DD++

▲6八玉 ▼7四歩 ▲7六歩 ▼7三桂
 ▲3三角不成 ▼同桂 ▲7七玉 ▼3四角
 ▲6六玉 ▼2五桂 まで10手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇		飛		王	飛			皇		一
		飛						皇		二
歩	歩	桂	歩	歩	歩			歩	歩	三
		歩					皇			四
								桂		五
			歩	王						六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
								飛		八
香	桂	銀	金			金	銀	桂	香	九

持駒 歩

大駒を超える桂跳ね3回。初形では全ての桂が大駒の下にいたので3枚が別々に跳ぶのか、それとも踏み台を用意して後手の同じ桂が2回以上跳ねて先手陣に切り込むのか。そのあたりを予測し間違えると長考する羽目になります。尤も、この問題の正解はそのどちらでもないのがいやらしいのですが。

ひとまず3回の先後割り振りを考えてみましょう。先手が2回指すとすれば、▲??玉▲36歩▲37桂▲76歩▲77桂のような内容になりますね。しかしここに後手が桂跳ねを絡めた5手を指して詰ますのは無理。ですから最低でも2回は後手の桂跳ねです。順当に考えて△74歩△73桂△34歩△33桂または△74歩△73桂▲33角不成△33桂と両方の桂を繰り出すのでしょうか。

さて後手に残されたのはあと1手ないし2手。これで先手玉に迫る方法はただ1つですね。後手駒を先手陣に運ぶのではなく、先手玉に中段に出てきてもらう方法。都合よく△74歩△73桂の部分が65と75を封じているので、66玉形をなんとか捕まえられそうです。

それを踏まえて手順構成を考えてみると「68玉、34歩、76歩、33桂、77玉、74歩、66玉、73桂、何か、何か」または「68玉、74歩、76歩、

73 桂、33 角不成、同桂、77 玉、何か、66 玉、何か」ですね。前者で▲77 桂で条件クリアが目につきますが、最終手で 56 への逃げ道が塞げず失敗。正解は後者で△34 角と踏み台を用意しつつ 56 地点を塞ぎ、トドメは△25 桂とソッポに跳ねる開き王手！ この最終手が思いつかずに苦労された方は多いのではないのでしょうか。

それではみなさんの短評をどうぞ。

チャンプ（作者）「最初の投稿で余詰めが無かった数少ない作品の一つです（笑）完成した時は特に何とも思いませんでしたが、改めて見ると割といい仕上がりになってるかも知れませんね。」

■割とどころかかなりいい仕上がりではないかと。

NAO 「なぜか既視感のある手順。似たような問題を作ったことがあったので、すぐ解けました。実はかなり難しい問題？」

■類似順はたしかに多いですね。

斧間徳子「中段玉を角による開き王手で詰める筋はよくあるが、本作は手順・条件ともすばらしく、感銘しました。」

■最後のソッポに跳ねるのが自然限定というのが全くもっておいしすぎます。

橘圭伍「先後反転した形で似た事をやった事があったので易しかったですがこれは形知らないと苦労しそうです。」

■推理将棋の開き王手は 9 手以下では登場しませんから詰将棋以上に考えが出にくいのかも。

はなさかしろう「的が絞りにくく、試行錯誤しました。なるほど、66 玉を 22 角で仕留める形でしたか。本作の桂シャッターは丁度 5 + 5 手。大駒下の桂跳ね 3 回、ぴったりの条件ですね。」

■桂跳ねが何に結びつくかは全体像が見えないとよくわからないことも多いですからね。

鈴木康夫 「33 の桂を跳ねての空き王手の詰み

はすぐに見えましたが 56 を塞ぐのに苦労しました。良く考えれば 34 角は必然なのですが、上下を取り違えて 33 の桂を跳ねるために 32 飛が必要と勘違いしました。」

■上下左右という表現は混乱しやすいので使いにくいのですよね。今回は補注をつけましたがそれでもやはり間違える方が……。

渡辺「条件からこの詰みしか有り得ないとは思っていましたが、この形が 11 手必要と置いていたために小細工ばかり考えめぐねた結果、まずは後手桂 3 回はあり得ないと証明しようとしてこの手順に至るという結果に。」

■実は私も解いた時は同じ経緯でした。

諏訪冬葉「最初「桂馬は先手後手どちらも跳ねる」「相手の大駒を飛び越える手がある」「最後は桂馬の利きに角をおいて詰み」と予想して、ヒントで全部否定されました。」

■ミスディレクション系かと思って深みにハマること、ありますよねえ。

たくぼん「桂跳ね後手 3 回と聞いてビックリ！すぐに手順が閃きました。」

■先後振り分けの直感が外れると大変です。

はらたつと「桂ハネ 1 回は先手だろうと決めつけてしまい、56 が塞げないので詰まない。34 角閃き一発なのに。。。」

■22 角で 66 玉を詰ます時は 56 を塞ぐのが急所。44 から 45 へ金や玉を上がるか、34 か 45 に角を打つか、9 割以上はそのどちらかですね。

キリギリス「ヒントの「全て後手桂が…」で△33 桂△34 角の形にたどり着けました。」

■ヒントが役に立ったようで何よりです。

隅の老人 B 「ソッポ？に跳んで、ハイ詰みました。34 角打が好手です。」

■詰みの面、条件クリアの面、双方に対して非常によく利いています。

占魚亭 「透かし詰の予想はつきましたが、3 回目の桂跳ねの実現に悩みました。33 角不成が一石二鳥の好手ですね。」

■実は「角をわたしつつ」「桂跳ねスペースを作りつつ」「歩に 34 を埋めさせない」で一石三鳥。

S.Kimura 「先手も 1 度桂馬を跳ねるに違いないと考え、深みにはまりました。ヒントを見るまで、この詰上がりは思いつきませんでした。」

■中編だとかなりよく使われる詰め上がりなのですが、自力で思いつくのはやはり難しいですか。

テイエムガンバ 「「後手だけではなく先手も桂を跳ねる」とか「自分ではなく相手大駒の 1 マス下にいる桂を跳ねる」といったミスディレクションを先に考えてしまいました。」

■確かに、そっち系っぽい条件付けなんですよね。

正解：15 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん 鈴木康夫さん 隅の老人 B さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん 橋圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん NAO さん はなさかしろうさん はらたっとさん 渡辺さん

6 6-3 上級 橋圭伍さん作

逃避行！？

27 手

A 「41 金同飛 42 金同銀 61 銀成迄 27 手で詰んだ将棋はどうだったの？」

先手「一つの駒で 3 種類計 9 枚の駒を取って駒得になったから勝ったと思ったね。ただ、5 筋で駒を取る事はなかったね。」

後手「1 段目に 2 回だけ着手したよ。」

A 「駒は何回打ったの？」

先手「丁度 3 回だけだね。王手も同じ回数だったよ。」

A 「まだ、分からないなあ。」

後手「一局を通して、金の着手は同じ筋に 2 回だけだったし、歩の着手も同じ筋に 2 回だけだったよ。」

(条件)

- ・▲41 金△同飛▲42 金△同銀▲61 銀成 迄 27 手で詰んだ
- ・先手は一つの駒で 3 種類計 9 枚の駒を 5 筋以外で取った
- ・駒打ち及び王手はそれぞれ 3 回だけだった
- ・金の着手は同じ筋に 2 回だけだった
- ・歩の着手は同じ筋に 2 回だけだった
- ・後手の一段目着手は 2 回だけだった

出題のことば (担当 DD++)

条件数が多いのは、裏を返せば手がかり豊富ということでもありますね。

追加ヒント：

先手馬は最終的に推理将棋の馬の定位置 43 地点へ。71 で銀は取りにくいので△72 銀と馬の経路上に後手から差し出すのがポイントです。

推理将棋 6 6-3 解答 担当 DD++

- ▲7 六歩 ▼6 二玉 ▲3 三角成 ▼7 四歩
- ▲2 三馬 ▼7 三玉 ▲4 一馬 ▼8 四玉
- ▲6 三馬 ▼9 五玉 ▲7 四馬 ▼4 二飛
- ▲8 三馬 ▼7 二銀 ▲同 馬 ▼8 四玉
- ▲6 一馬 ▼7 三玉 ▲4 三馬 ▼6 二玉
- ▲7 二銀 ▼5 一玉 ▲4 一金 ▼同 飛
- ▲4 二金 ▼同 銀 ▲6 一銀成 まで 27 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科		全	王	遊		科	皇	
二						遊		馬		
三	歩					馬			歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩6

27 手の長編、とはいえ最後が 5 手も明かされています。落ち着いて考えてみましょう。先手の

手番は 14 回あります。うち 9 手が角（馬）での駒取り、41 金と 42 金は駒打ち、また銀を打ってからの 61 銀成も必要。初手 76 歩を加えて、これで先手の全 14 手です。

取る駒はまず打つために金が 2 枚。銀も打つ必要がありますが左銀は残さないといけないので銀は右銀を 1 枚だけ。そして残り 1 種類で 6 枚取れるのは歩だけです。5 筋禁止かつ端歩は取りにくいとなれば 2 3 4 6 7 8 筋で 6 枚。このうち条件から 73 歩は 74 へ移動、残りの歩 5 枚と金 2 枚は不動のまま取ることになります。33→23→41→63→74→83→61→43 の順で金 2 歩 6 を回収し、その途中で 71 から動いた銀も拾うルートはすぐに見えますね。

さて、それで玉はどこで詰ませてもらえばいいのでしょうか？ 61 銀成で詰むのですから 51 か 62 か 71 ですが、ここは 41 同飛 42 同銀の壁作りを信用して 51 と決め打ちしましょう。すると、仮に王手を無視するとして、後手が 13 手使って指さなければいけない手は、△42 飛△41 同飛△42 同銀と銀を渡す△72 銀、そして条件合わせの△74 歩、あとは……あれ、これだけです。なんと 8 手も余りました。そしてこの 8 手がこの問題の最大の見所です。

すべきことは全力で王手回避。しかも▲41 金▲42 金▲61 銀成が 3 連続王手ですから、王手に対処するのではなくそもそもの王手をかけられないための早逃げになります。▲41 馬▲63 馬▲74 馬のあたりでもはや逃げ場がないように見えますが、そこは 8 手という手数を活かしましょう。8 手ということは 4 マス先との往復が可能。馬が後手陣を蹂躪している間に玉は 95 へ一度脱出し、何事もなかったかのように 51 に再度現れれば万事解決。まるで串刺しイリュージョンを見ているようですね。

なお、姉妹作の「右往左往!？」(Web Fairy Paradise 第 59 号にて解説されています)は、ほとんど同じ馬の軌道に対し 61 や 41 で馬をやり過ごす手順でした。こういう狙いを表現する問題は長編作家橘さんならではのですね。

それではみなさんの短評をどうぞ。

橘圭伍（作者） 「条件を単一で見るのではなく何

個も組み合わせて見る楽しさを味わって頂ければ幸いです。」

■確かにそれが多条件の長編ならではの楽しみ方ですよええ。

NAO 「条件が多いが後半の条件はヒントと受けとれば解きやすい。mixi 出題時に再三別手順を解答し、実は条件増やしには貢献していましたね。」

■何回条件修正入りしましたっけ。

斧間徳子 「最初は、後手玉が 53 歩の回り一周するのかなと思ったが、端までの往復散歩がテーマでした。テーマがはっきりしており、論理的に考えやすい条件は（ちょっと冗長のきらいもあるが）好感。」

■53 歩を一周は限定するのがかなり大変そうです。それでも橘さんならできるのかな？

はなさかしろう 「まず問題の焦点が見えてくるまでじわっと考えなくてはならないところは長編ならではの。しかし先手の馬の経路はほぼ自明。タイトル通り、後手玉の経路探索に集中できました。斜め一直線の往復が意外で美しいですね。」

■この玉往復が見えた瞬間、一気に高揚しますよね。

鈴木康夫 「三種の駒は金銀歩なのは明らか。初手と最終手と打つ手以外は駒取りなのも明らか。詰上がり 51 玉 43 馬型なのもほぼ自明。王手 3 回は最後の 3 手なのもやはり自明。後は馬の一筆書きを見つけるだけなのですが 2 手目 42 飛の紛れにはまって苦労しました。42 飛は後でも良いと解ったらすぐに解けました。タイトルが潜在意識にヒントをくれていたのかも。」

■馬の追っ手は足が速いですから、一も二もなく玉の脱出なのです。

渡辺 「論理的に解けたのでこれが最も楽でした。私もこういう中長編が作れるようになりたい。」

■後半は全くもって同意です。

渡辺 「金の手2回は明かされた以外ないので、2回とも打。自陣銀が61に成るのも無理があるので銀打あり。後手の銀は1つ取られていないから、先手の取った駒は歩6銀金2。先手の手は明かされた3手以外は76歩、銀打、88角で9個の駒取。41と61の金は動かずに馬で取られるから玉は一度玉座を退く必要があり、後手の1段目の着手は明かされた手と51玉のみ。詰上がりは先手43馬61全、後手51玉41飛42銀。あとは明かされた以外に王手がないことに注意して前後から手を埋めて行けば15手目くらいのところで繋がります。」

■渡辺さんは短評とあわせて完璧な論理解をくださいました。お見事。

諏訪冬葉 「3手目から21手目までの10手で駒を9個取って銀を打つ。相当の制約だったのでほぼ一本道で決まりました。」

■手数に尻込みしないかどうかが実は最大の障害。

チャンプ 「最終の10手程は瞬時に解っていたにも関わらず2手目を42飛しか考えていなくて解答が大幅に遅れました(苦笑)後手着手の無意味さが面白いと感じました。」

■ここまで大掛かりな無駄手は他の問題では…探せばあつたりするのかな？

たくぼん 「右往左往!?!と対を成す手順で楽しみました。一直線で95に逃避行する玉に哀愁を感じます。プルーフゲームのような感覚のする作品でした。」

■逃避行しても戻ってくるお茶目な玉将。

はらたっと 「先手の手は簡単。他の条件は後手の手を限定するためと思いつつ1段目2回で大幅に修正。まさか95までいくとは、…」

■71玉や41玉で退避できれば楽なんですけどね。

キリギリス 「先手の指手は21手目の銀を打つ場所以外は確定ですが、後手玉の95まで行っ

て帰ってくるというのは思いつきにくかったです。」

■手順のキモはそう簡単には見つけさせてくれません。

隅の老人B 「王と馬とで、逃げたり追いかけたりのラブゲーム。最後は古巣でハッピーエンドの物語。」

■そんな古物語、どこかにありそうですね。

占魚亭 「ギブアップです。後手一段目着手2回という条件をクリアできません。」

■後手陣内でどうにかしようと奮闘されたのでしようかね。

S.Kimura 「推理将棋はいつも暗算で解くのですが、この問題のように条件が多いと頭に入り切りません。今回も結局解くことができませんでした。もっと長手数の問題に慣れる必要があります。」

■条件数が多い場合、重要そうな条件だけ覚えて暗算でいくつか実現しそうな筋を探しておいて、その後条件を再確認して合致するものを選択する、という形を私はとっています。

テイエムガンバ 「先手馬の動きは問題を見て直感で読めましたが、その馬を動かすための後手玉の動かし方を考えるのに苦労しました。」

■この玉の動きまで直感で当てた人がいたら本当にすごいと思います。

正解：13名

斧間徳子さん キリギリスさん 鈴木康夫さん
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん たくぼんさん
橘圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん
NAOさん はなさかしろうさん はらた
っとさん 渡辺さん

総評

NAO 「初級の在庫不足とか。力になりたいが、

短手数モノはほとんど作ってません。手数長くてもいいですか。」

■パッと見で手が出しやすくて実際に簡単なら長手数でもかまいませんよ。

橘圭伍 「今回は 2 作品だったので楽でした。初級製作は困難です。なかなか」

■と言いながらも 1 つ投稿してくださいました。感謝。

はなさかしろう 「長編は見た目がいかつくてとっつきにくいのですが、とりあえずかじってみたところで見通しが良くなると俄然面白くなりますね。」

■これが長編を作る上で一番大事なことなのかもしれません。

鈴木康夫 「今月はどれもちょうど良い難易度で楽しめました。」

■今後の難易度調整の参考にします。

渡辺 「今回は上級、初級、中級の順に解けました。」

■短編に強い渡辺さんが、珍しいこともあったものです。

チャンプ 「初級問題は違う意味で難しいんですよ（笑）今回が今年最後の初級問題にならないように頑張って創作してみたいと思います。」

■客寄せはどうしても必要なもので、どうしてもとなれば毎月担当作になっても初級出題は継続します。

しまぎろう 「今月は余り時間が取れませんでした。解答期間延長をお願い申し上げます。」

■17 日間では短いですかね。毎月 20 日の締め切り直後に次回分を出題してほしいという声が多ければ TETSU さんと相談してみます。賛成意見、反対意見、ございましたらコメントお願いします。

はらたつと 「今月は王様がよく動きました。」

■実は 3 題とも中段玉。上級はそこから戻りましたけど。

隅の老人 B 「4 月 20 日、名古屋は快晴、風も爽やか初夏来る。思い出した、今日は「おもちゃ箱」の推理将棋の解答締切日。ヒントを頼りに考える、それでも 66-3 で大苦戦。解けたような解けないような、そんな思いの解答です。」

■こちら豊橋も爽やかな初夏を迎えています。同じ県内ですから当然といえば当然ですか。

推理将棋第 66 回出題全解答者： 18 名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん キリギリスさん
しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人
Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼん
さん 橘圭伍さん チャンプさん テイエムガ
ンバさん NAOさん はなさかしろうさん
はらたつとさん ひろぼんさん やまかんさん
渡辺さん

小野小町氏作「集積回路Ⅱ」

(1989年6月 詰将棋パラダイス)

協力自玉詰 1680手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								金	一		
							金	銀	金	二	
						金	桂		香	三	
				桂				王		四	
				銀						五	
							香	桂		六	
							銀	桂	歩	王	七
								銀	飛		八
							香			角	九

持駒 飛歩17

「集積回路Ⅱ」は小野小町氏が詰将棋パラダイス 1989年6月号に発表し、後に第2回妖精賞長編部門を受賞した作品です。発表時の作意は1792手でしたが、これに橋本哲氏が1680手の解を発見し、それが現在の作意とされています。この1680手解は長らく最短解と思われてきましたが、最新の調査で1638手が最短であることが判明しました。この記事では、新たに発見された手順、検討ツール及び関連作品の検討結果について報告したいと思います。

1. 従来 of 解

新しく発見された手順を紹介する前に、従来最短とされていた手順を簡単な解説を交えながら紹介します。ただし、この作品は非限定許容の前提で作られているものなので、非限定順については説明しません。また、ここで示す手順は、以前私が分割検討の手法でfmに出力させたもので、若干不自然な感じを受けるかもしれませんが、そこは非限定部分なので「そういう手順でも良いのか」程度に思ってご覧ください。

【従来の最短解】

(初形から)

44飛 34角 同飛 23玉 24飛 同玉

☆持駒の飛を角に変えるこの6手は序奏。

ここから歩1枚を減らすのに96手も掛ける
 巧妙な持駒消去が始まります。

(途中図：6手目)

									金	一	
								金	銀	金	二
						金	桂		香	三	
					桂			王		四	
					銀					五	
							香	桂		六	
						銀	桂	歩	王	七	
							銀	飛		八	
						香				角	九

持駒 角歩17

「57角 46飛 同角 15玉 35飛 24玉
 45飛 35香 同角 15玉 53角生 24玉
 44飛 23玉 24飛 同玉 35角成 23玉
 45馬 24玉 46馬 23玉 56馬 24玉
 57馬 23玉 67馬 24玉 68馬 23玉
 78馬 67飛 24香 同玉 79馬 68飛生
 同馬 23玉 78馬 56香 24飛 同玉
 79馬 68飛 同馬 57香成 44飛 23玉
 67馬 56杏 24飛 同玉 68馬 57飛
 同馬 46杏 44飛 23玉 56馬 45杏
 24飛 同玉 57馬 46飛 同馬 35杏
 23飛 同玉 56馬 45飛 同馬 24玉
 25飛 同杏 46馬 23玉 56馬 45飛
 同馬 24玉 34馬 15玉 16歩 同杏
 同馬 24玉 34馬 15玉 24馬 同玉
 23飛 同玉 25香 24角 同香 同玉」

(途中図：102手目)

									金	一	
								金	銀	金	二
						金	桂		香	三	
					桂			王		四	
					銀					五	
							香	桂		六	
						銀	桂	歩	王	七	
							銀	飛		八	
						香				角	九

持駒 角歩16

☆何もない空中に香を発生させ、それを成香に変えて25まで運びます。目的は持駒の歩の消去。攻方が歩を打てるのは1筋だけですが、それを取る駒として成香が必要なのです。成香の代わりに「と金」を使うと、歩を取らせた後に持駒になるのが香ではなく歩になる

ので、千日手となってしまいます。これが歩合でなく香合となる理由です。

(102 手目から)

「」内の手順を後 16 回繰り返す
(途中図：1638 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								金	一	
							金	銀	金	二
						金	桂		香	三
				桂			王			四
				銀						五
						香	桂			六
					銀	桂	歩	王		七
							銀	飛		八
						香			角	九

持駒 角

☆これで歩の消去は完了。以下は収束です。

(1638 手目から)

57 角 46 飛 同角 15 玉 35 飛 24 玉
45 飛 35 香 同角 15 玉 53 角生 24 玉
44 飛 23 玉 24 飛 同玉 35 角成 23 玉
45 馬 24 玉 46 馬 23 玉 56 馬 45 飛
24 香 同玉 57 馬 46 香 同馬 23 玉
25 香 同飛 56 馬 45 香 同馬 同飛
25 香 24 角 同香 同玉 15 角 同飛
まで 1680 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								金	一	
							金	銀	金	二
						金	桂		香	三
				桂			王			四
				銀					王	五
						香	桂			六
					銀	桂	歩	王		七
							銀	飛		八
						香			角	九

持駒 なし

☆歩を消去した効果で 16 歩合ができず、見事自玉を詰めることができました。従来の検討では、初手～6 手目、6 手目～102 手目、1639 手目～最終局面までの各々の最短性が確認されており、全体手順も完全だと予想されていました。しかし、その予想は今回の検証によって覆されました。

2. 真の最短解

今回発見された早詰は、一言でいえば歩 1 枚を減らす手数を 96 手から 92 手に縮めるものです。一方、作意の 6 手目から 102 手目に至る手順に早詰はないことは確認されています。ではなぜ手数の短縮が可能なのでしょう？

その答えを今から見ていきましょう。

【真の最短解】

44 飛 34 角 同飛 23 玉 24 飛 同玉
57 角 46 飛 同角 15 玉 35 飛 24 玉
45 飛 35 香 同角 15 玉 53 角生 24 玉
44 飛 23 玉 24 飛 同玉 35 角成 23 玉
45 馬 34 飛 24 香 同玉 46 馬 35 飛
同馬 23 玉 45 馬 24 玉 46 馬 23 玉
56 馬 24 玉 57 馬 23 玉 67 馬 24 玉
68 馬 23 玉 78 馬 56 香 24 飛 同玉
79 馬 68 飛 同馬 57 香成 44 飛 23 玉
67 馬 56 杏 24 飛 同玉 68 馬 57 飛
同馬 46 杏 44 飛 23 玉 56 馬 45 杏
24 飛 同玉 57 馬 46 飛 同馬 35 杏
23 飛 同玉 56 馬 45 飛 同馬 24 玉
25 飛 同杏 46 馬 35 飛 同馬 23 玉
45 馬 24 玉 34 馬 15 玉 16 歩 同杏
同馬 24 玉 34 馬 15 玉 24 馬 同玉
23 飛 同玉 25 香 24 角 同香 同玉
(途中図：102 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								金	一	
							金	銀	金	二
						金	桂		香	三
				桂			王			四
				銀						五
						香	桂			六
						銀	桂	歩	王	七
							銀	飛		八
						香			角	九

持駒 角歩16

☆102 手目までは作意と同じで、違うのはここから。受方に渡した一步が大きく働きます。

(102 手目から)

57 角 46 飛 同角 15 玉 35 飛 24 玉
45 飛 35 香 同角 15 玉 53 角生 24 玉
25 香 15 玉 24 香 同玉 35 角成 15 玉
68 馬 35 香 同飛 24 玉 15 飛 23 玉
78 馬 56 歩 24 香 同玉 79 馬 68 香
同馬 57 歩成 14 飛 23 玉 78 馬 56 と

24 飛 同玉 79 馬 68 飛 同馬 46 と
 23 飛 同玉 78 馬 45 と 25 香 24 飛
 同香 同玉 44 飛 同と 79 馬 68 飛
 同馬 23 玉 78 馬 56 香 24 飛 同玉
 79 馬 68 飛 同馬 57 香成 14 飛 23 玉
 67 馬 56 杏 24 飛 同玉 68 馬 57 飛
 同馬 46 杏 14 飛 23 玉 56 馬 45 杏
 24 飛 同玉 57 馬 46 飛 同馬 35 杏
 23 飛 同玉 56 馬 45 飛 同馬 24 玉
 25 飛 同杏 46 馬 35 飛 同馬 23 玉
 45 馬 24 玉 34 馬 15 玉 16 歩 同杏
 同馬 24 玉 34 飛 同と 15 馬 23 玉
 25 香 24 飛 同香 同と 14 馬 同と
 25 飛 24 角 同飛 同玉 57 角 46 飛
 同角 15 玉 35 飛 24 玉 45 飛 35 香
 同角 15 玉 53 角生 24 玉 44 飛 23 玉
 24 飛 同玉 35 角成 23 玉 45 馬 34 飛
 24 香 同玉 46 馬 35 飛 同馬 23 玉
 45 馬 24 玉 46 馬 23 玉 56 馬 24 玉
 57 馬 23 玉 67 馬 24 玉 68 馬 23 玉
 78 馬 56 香 24 飛 同玉 79 馬 68 飛
 同馬 57 香成 44 飛 23 玉 67 馬 56 杏
 24 飛 同玉 68 馬 57 飛 同馬 46 杏
 44 飛 23 玉 56 馬 45 杏 24 飛 同玉
 57 馬 46 飛 同馬 35 杏 23 飛 同玉
 56 馬 45 飛 同馬 24 玉 25 飛 同杏
 34 馬 15 玉 16 歩 同杏 同馬 24 玉
 15 馬 23 玉 25 香 24 飛 同香 同と
 14 馬 同と 25 飛 24 角 同飛 同玉

(途中図：220 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								金	一	
							金	銀	金	二
						金	桂		香	三
				桂			王	マ		四
				銀						五
						香	桂			六
						銀	桂	歩	王	七
							銀	飛		八
						香			角	九

持駒 角歩15

☆少々長いですが 118 手一気に進めました。歩を 1 枚減らすのに 22 手余分に掛けています。その代わりに「と金」を盤上に配置しました。この「と金」は成香の代わりに使うわけではありません。従来の手順の解説にも書いた通り、それでは千日手になります。実は「と金」

には別の役目があるのです。

(220 手目から)

『57 角 46 飛 同角 15 玉 35 飛 24 玉
 45 飛 35 香 同角 15 玉 53 角生 24 玉
 44 飛 23 玉 24 飛 同玉 35 角成 23 玉
 45 馬 34 飛 24 香 同玉 46 馬 35 飛
 同馬 23 玉 45 馬 24 玉 46 馬 23 玉
 56 馬 24 玉 57 馬 23 玉 67 馬 24 玉
 68 馬 23 玉 78 馬 56 香 24 飛 同玉
 79 馬 68 飛 同馬 57 香成 44 飛 23 玉
 67 馬 56 杏 24 飛 同玉 68 馬 57 飛
 同馬 46 杏 44 飛 23 玉 56 馬 45 杏
 24 飛 同玉 57 馬 46 飛 同馬 35 杏
 23 飛 同玉 56 馬 45 飛 同馬 24 玉
 25 飛 同杏 34 馬 15 玉 16 歩 同杏
 同馬 24 玉 15 馬 23 玉 25 香 24 飛
 同香 同と 14 馬 同と 25 飛 24 角
 同飛 同玉』

(途中図：312 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								金	一	
							金	銀	金	二
					金	桂		香		三
				桂			王	マ		四
				銀						五
						香	桂			六
						銀	桂	歩	王	七
							銀	飛		八
						香			角	九

持駒 角歩14

☆これが余分に手数を掛けて「と金」を発生させた意味です。「と金」がない場合、後々の手順を考えて飛を持駒に加えてから、歩の処分を行わなくてははいけませんでしたが、上の手順では飛を持駒にする必要がなく、「と金」のおかげで持駒の香と盤上の馬の交換が簡単に行え、作意より 4 手短い 92 手で歩 1 枚を消せるようになったのです。

☆この短縮の効果は歩 1 枚につき 4 手。盤上に「と金」を発生させるため 22 手余分に掛かっていますから、短縮の効果は $4 \times 15 - 22 = 38$ 手。これが今回発見された手順による手数短縮に利いています。

(312 手目より)

『』内の手順を後 14 回繰り返す。

(途中図：1600 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								金	一
						金	銀	金	二
					金	桂		香	三
				桂			王	マ	四
				銀					五
						香	桂		六
					銀	桂	歩	王	七
						銀	飛		八
					香			角	九

持駒 角

☆ここから先の手順は盤上に「と金」がある以外、従来と変わりありません。

(1600 手目から)

57 角 46 飛 同角 15 玉 35 飛 24 玉
 45 飛 35 香 同角 15 玉 53 角生 24 玉
 44 飛 23 玉 24 飛 同玉 35 角成 23 玉
 45 馬 24 玉 46 馬 23 玉 56 馬 45 飛
 24 香 同玉 57 馬 46 香 同馬 23 玉
 25 香 同飛 56 馬 45 香 同馬 同飛
 25 香 24 角 同香 同玉 15 角 同飛
 まで 1642 手
 (詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								金	一
						金	銀	金	二
					金	桂		香	三
				桂			王	マ	四
				銀				王	五
						香	桂		六
					銀	桂	歩	王	七
						銀	飛		八
					香			角	九

持駒 なし

☆今回の早詰順、いかがでしたか？

「成香の生成」という作品の主題に合わせるかのような「と金の生成」が見事で、これが当初からの作意であれば、作品価値が大幅に上がっていたことは間違いありません。かつて作者自身の作意を橋本哲氏の解に置き換えたように（その解でこの作品は妖精賞を受賞しました）、今回の早詰を現在の解に置き換えれば、より一層の名作として後世に残すことができると思います。

3. 検討ツール

今回の早詰は神無次郎氏が開発した「n f m」によって見つかりました。通常の f m が「深さ優先」の探索を行うのに対し、n f m は「幅優先探索」を行います。このため、1 手毎の選択枝が比較的少ない作品であれば、かなりの長手数であっても高速で解くことができます。例えば加藤徹氏作「寿限無」も 10 秒程度で解けるのです。逆に選択枝が多いと早々にメモリを使い果たし、短手数でも詰められないことがあります。このような分野では「深さ優先探索」を行う f m の方に軍配が上がります。つまり、問題の性質に応じ、双方を上手く使い分ける必要があるのです。

n f m が開発されたのは 2006 年頃で、私も Onsite Fairy Mate の第 118 回出題時 (<http://kuro7ro.abz.jp/solve/solution24.html#118>) に簡単な紹介をしています。当時は大量にメモリを搭載したマシンが市場に出回っておらず、やや時期尚早でしたが、今は家庭用 PC でも大量のメモリを搭載できる機種が増えました。n f m の持つ能力を多くの方が実際に確かめられる時代がいよいよやってきたのです。近い将来 n f m の一般公開もなされると思いますので、楽しみにお待ちください。

4. その他の「集積回路」

小野小町氏には他にも「集積回路」と名付けられた作品群があります。中には合作や別のペンネームで発表されたものもあるので、これらについて検討結果などを簡単に報告します。

① 「集積回路」

薬師丸ひろ子・小林看空合作

(1984 年 5 月 詰将棋パラダイス)

協力白玉詰 836 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
歩	歩	歩			金	金	歩	歩	一
					馬		金	金	二
					桂			歩	三
銀						桂	歩		四
	銀			銀	歩	歩	桂		五
歩	と					桂	香		六
王	王	王	歩	歩	銀	角	香		七
	歩	歩	歩	歩	歩	香	香		八
									九

持駒 飛

1984年2月に発表された図の修正図。
修正図での発表時の手数は846手とされているが10手短く詰む。手数の数え誤りか？

② 「集積回路Ⅲ」

小野小町作 (1990年2月 詰将棋パラダイス)

協力白玉詰 3944手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

ス								銀	一
ス						金	銀		二
ス		雀			歩			香	三
ス	金		金		桂				四
ス			金						五
ス	角				桂	桂	歩		六
ス		銀	銀			王			七
皇	歩	歩	歩	香	歩	桂	香		八
ス	ス	ス	ス					王	九

持駒 飛歩

原作意 6000手に対し、3944手で歩が3枚余る早詰が見つかった。その後、3916手の駒の余らない早詰の存在が発見されている。

(WFP24号にて報告済み)

複雑な早詰のためか、nfmではメモリ不足となり、検証できず。3916手が本当に最短かどうかの確認はできなかった。

③ 「集積回路Ⅳ」

小野小町 (1990年1月 詰将棋パラダイス)

協力白玉詰 2544手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	銀								一
			歩						二
金		金							三
香		香		桂					四
王						金			五
		桂		香					六
	王			香	金				七
銀	歩	桂							八
角	銀	銀							九

持駒 飛歩16

早詰。修正図は発表されていない。

最短は26手。

(早詰順)

96歩 85玉 82飛 83飛 同飛生 75玉
86飛成 65玉 45飛 55角 95龍 54玉
44飛 53玉 63金 同玉 43飛生 53桂
同飛生 74玉 75歩 65玉 74歩 85桂

77桂 同角成 まで 26手 駒余り 歩14

④ 「集積回路Ⅵ」

小野小町 (1990年4月 詰将棋パラダイス)

協力白玉詰 1988手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								歩	二
					金	桂	桂	金	三
					銀			銀	四
				香		桂	桂		五
								王	六
					王	歩	香		七
					皇		銀	皇	八
				爵			飛		九

持駒 飛歩16

発表時 62手の早詰が指摘されていた。

修正図は発表されていない。最短は60手。

(早詰順)

96飛 86角 同飛 76角 同飛 66金
同飛 26金 17金 15玉 26金 24玉
34金 同玉 89角 24玉 15金 同玉
26角 16玉 17角 56金 同飛 15玉
26角 24玉 15金 34玉 58飛 78金
24金 同玉 15角 同玉 16香 同玉
56飛 46角 同飛 36金 同飛 26香
同飛 15玉 16飛 同玉 15金 同玉
17香 16飛 26角 24玉 15角 34玉
78角 67金 45金 同玉 46歩 同飛
まで 60手 歩15余り

⑤ 「集積回路Ⅶ」

小野小町 (1990年6月 詰将棋パラダイス)

協力白玉詰 1240手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							皇		一
									二
							金	金	三
						銀	銀	銀	四
					香	歩	香	香	五
								王	六
			香	桂	桂		桂		七
				銀			歩		八
			角	王	金		桂	金	九

持駒 飛歩15

シリーズ初の完全作。nfmによる検証で完

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7月15日(月)

WFP5周年記念コンクール

推理将棋 6作

解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展

協力詰 作

7月28日(日)

JIGSAW BOX#08

フェアリー作品 1作

8月15日(月)

第53回 WFP 作品展

フェアリー作品 17作 推理将棋 2作

作品募集一覧

7月15日(月)

Fairy of the Forest #35

課題：王手駒と同種の合駒

王手や合駒は「打」でなくても可とします。
多くの方々のご投稿をお待ちしています。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

あとがき

第29回詰将棋全国大会は7月14日に名古屋市で開催されます。私は相変わらずバドミントンの大会と重なり欠席です。(もう本当に何とかならんかなあ～)岩本さん本当にごめんなさい。アトラクションではばか詰の解答競争もあるので、こちらの成り行きにも注目です。(どなた

か参加者の方、レポートをお願いできますか)。御盛會を祈念致します。

今月号は2つの5周年記念の作品展を開催しております。WFP 作品展 A コースや解くのに頭を悩ます5手協力詰作品展、神無太郎氏のウォーミングアップコースでは短手数協力詰(ばか詰)を、5周年記念コンクールでは短編推理将棋を出題しています。フェアリー初心者の方でも大丈夫!日ごろ難しくて手が出せないと思っているあなた今月はチャンスですよ。

まだ確定ではないのですが大物フェアリスト(詰将棋界でも有名)のWFP参加があるかもしれません。ネット環境にない方ですが、仲介する方から連絡頂いております。これは楽しみです。

「貧乏暇なし」とはよく言ったもので忙しいけど儲からない。なかなか難しいものだ。忙しい中、解答、創作、編集の時間を見つけながら日々を過ごしている。暇を見ては2階で昼寝している「ちょー●り」や1日中寝ている愛犬JII君を見て、「羨ましい」とは思わないが「もったいない」と思うのは異常?正常?年をとった証拠?でしょうか。ただ忙しいからといってミスや不義理をして他の方に迷惑をかける事がありそれが辛い所です。もう少し心に余裕が必要かもしれません。

諸事情により1日発行が遅れました事をお詫びします。

たくぼん

2013年 第60号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十五年六月号

平成二十五年六月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp